

## 没にした空間図形(問題追加)

範囲：空間図形

難易度：★×5

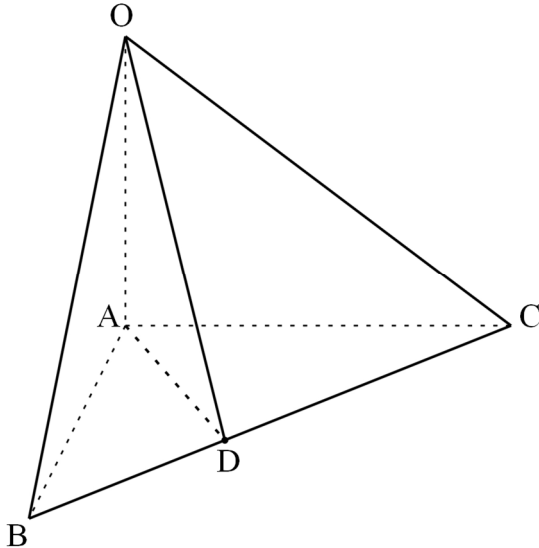
得点

/12

出典：オリジナル

下の図のように、 $OA \perp \triangle ABC$ 、 $\angle BAC = 90^\circ$  の三角錐  $O-ABC$  があります。 $\angle BAC$  の二等分線と辺  $BC$  の交点を  $D$  とします。

$OA = 1$ 、 $AB : AC = 1 : 2$ 、 $BC = 3\sqrt{5}$  のとき、次の問いに答えなさい。



- (1)  $OD$  の長さを求めなさい。計算過程も書きなさい。
- (2) 線分  $OC$  上に点  $P$  をとり、線分  $BP$  と  $OD$  の交点を  $Q$  とします。  
立体  $AOBQ$  と立体  $AQDCP$  の体積が等しくなるとき、 $OQ$  の長さを求めなさい。



**【解答例】**

$t > 0$  で、 $AB = t$  とすると、 $AC = 2t$

$$t^2 + (2t)^2 = (3\sqrt{5})^2, \quad 5t^2 = 45, \quad \text{これを解いて、} \quad t = 3$$

よって  $AB = 3$ 、 $AC = 6 \cdots \cdots \textcircled{1}$

( $AD$  は  $\angle BAC$  の二等分線だから)  $AB : AC = BD : DC$  なので、  
 $BD : DC = 1 : 2 \cdots \cdots \textcircled{2}$

$AB$  上に  $\angle DEA = 90^\circ$  となる点  $E$  をとると、

$\triangle BDE \sim \triangle BCA$  より  $DE : CA = 1 : 3$  となるから  $DE = 2$  ( $\ast 1$ )

$\triangle ADE$  は直角二等辺三角形なので、 $AD = \sqrt{2}DE = 2\sqrt{2}$

$$\text{したがって、} \quad OD = \sqrt{1^2 + (2\sqrt{2})^2} = 3$$

( $\ast 1$ ) 北海道の計算過程書かせる問題では、相似の証明まではしなくてよい。

**<部分点>**

- ・  $\textcircled{1}$   $AB$  の長さか  $AC$  の長さが求められている  $\cdots \cdots 2$  点
- ・  $\textcircled{2}$  が求められている  $\cdots \cdots 2$  点

**【別解】**  $\textcircled{2}$  までは上記と同じ

よって、 $BD = \sqrt{5}$ 、 $DC = 2\sqrt{5}$  となる。

$$AD = \sqrt{AB \times AC - BD \times DC} = \sqrt{18 - 10} = 2\sqrt{2} \quad (\ast 2)$$

$$OD = \sqrt{1 + (2\sqrt{2})^2} = 3$$

( $\ast 2$ ) 中学では習わない公式、詳しくは角の二等分線公式とでもググる

**【いないと思うけどベクトルを使った場合】**  $\textcircled{2}$  までは上記と同じ

$$\overrightarrow{OD} = \overrightarrow{OA} + \overrightarrow{AD} = \overrightarrow{OA} + \frac{2}{3}\overrightarrow{AB} + \frac{1}{3}\overrightarrow{AC} \text{ なので、}$$

$$|\overrightarrow{OD}|^2 = 1 + \frac{4}{9} \cdot 9 + \frac{1}{9} \cdot 36 + \frac{4}{3}\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{AB} + \frac{4}{9}\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} + \frac{2}{3}\overrightarrow{AC} \cdot \overrightarrow{OA}$$

$OA \perp \triangle ABC$ 、 $AB \perp AC$  なので、 $|\overrightarrow{OD}|^2 = 9$  したがって、 **$OD = 3$**

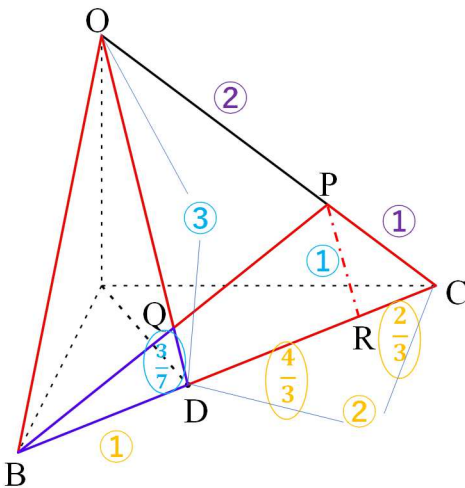
(2) (4点) <https://hokkaimath.jp/>

三角錐 A-OBQ と四角錐 A-QDCP はどちらも A を頂点とし、  
 $\triangle OBQ$  も四角形 QDCP も同一平面上にあるので、高さが等しくなる。結局、  
 体積が等しくなるとき、 $\triangle OBQ = \text{四角形 QDCP}$  となる。

さらに、 $\triangle OBD = \triangle OBQ + \triangle BDQ$ 、 $\triangle PBC = \text{四角形 QDCP} + \triangle BDQ$  なので、  
 $\triangle OBQ = \text{四角形 QDCP}$  のとき、 $\triangle OBD = \triangle PBC$  となる。

よって、 $BD : BC = 1 : 3$  なので、 $\triangle OBD$  と  $\triangle PBC$  の高さの比は  $3 : 1$  となるから、  
 $OC : PC = 3 : 1$ 、すなわち、 $OP : PC = 2 : 1$  となる。

<解法 1>中学生らしく



点 P から OD に平行な直線を引き、  
 BC との交点を R とする。

$$PR : OD = 1 : 3$$

$$CR : RD = 1 : 2 = \frac{2}{3} : \frac{4}{3} \text{ より,}$$

$$BD : DR = 1 : \frac{4}{3} = 3 : 4$$

$$QD : PR = \frac{3}{7} : 1 \text{ となるから,}$$

$$OQ : QD = \frac{18}{7} : \frac{3}{7} = 6 : 1$$

よって、 $OQ = \frac{6}{7}OD = \frac{18}{7}$  【作成】 高校入試 入試 数学 良問・難問

<解法 2>メネラウスの定理

$$\frac{QP}{PC} \times \frac{CB}{BD} \times \frac{DQ}{QO} = 1 \text{ より, } \frac{2}{1} \times \frac{3}{1} \times \frac{DQ}{QO} = 1, \frac{DQ}{QO} = \frac{1}{6} \text{ だから,}$$

$$OQ = \frac{6}{7}OD = \frac{18}{7}$$